

令和5年度 第2回 中部地方整備局事業評価監視委員会 再評価（一括審議）案件一覧

資料6

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点	都道府県・政令市 等の意見
1	国道1号 北勢バイパス	自 三重県三重郡川越町南福崎 至 三重県四日市市采女	H4年度事業化 H7年度用地着手 H11年度工事着手	1,420 1,459	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 約82% 事業進捗率 約74% (令和5年 3月末時点) 三重県三重郡川越町南福崎 ～三重県三重郡朝日町大字小向 L=1.2km 平成14年度開通(4/4)	・令和5年度は以下内容を実施 【(市)日永八郷線～国道477号バイパス】 ・調査推進: 環境調査、水文調査、 調査設計(協議用資料作成等) ・用地買収推進: 御館地区ほか移転補償 ・工事推進: 山之色地区ほか改良工 坂部トンネル工 坂部トンネル設備工 山之色地区ほか舗装工 【国道477号バイパス～四日市市采女町】 ・調査推進: 測量、地質調査、環境調査、水文調査、 川島地区ほか道路予備設計、 調査設計(協議用資料作成等) (市)日永八郷線～国道477号バイパス L=4.1km(2/4) 令和6年度開通予定 (トンネル工事が順調に進んだ場合)		【事業全体】 総便益B:12,967億円 総費用C:6,499億円 B/C=2.0 【残事業】 総便益B:10,328億円 総費用C:1,419億円 B/C=7.3 【事業全体】 総便益B:18,250億円 総費用C:7,013億円 B/C=2.6 【残事業】 総便益B:11,933億円 総費用C:1,305億円 B/C=9.1	継続
	国道23号 鈴鹿四日市道路	自 三重県四日市市采女町 至 三重県鈴鹿市福生町	R2年度事業化	840 840	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 0% 事業進捗率 約1% (令和5年 3月末時点)	・令和5年度は以下内容を実施 【四日市市采女町～鈴鹿市福生町】 ・調査推進: 用地調査、環境調査、水文調査、 調査設計(協議用資料作成等)	・3次元モデル(BIM/GIM)を構築・活 用することで、事業効率化・高度化 を図っていく。 ・北勢バイパスでは設計段階におい て、航空写真測量による点群デー タを取得し3次元モデルを作成して いる。3次元モデルの活用により、数 量算出や施工計画検討などの作業 時間短縮に寄与している。 ・今後も、技術の進展に伴う新工法 の採用等による新たなコスト縮減に 努めながら事業を推進する。	(事業区間を北勢バイパスとして算出した場合) 【事業全体】 B/C=2.6 【残事業】 B/C=6.5 B/C=3.5 B/C=15.8 (事業区間を鈴鹿四日市道路として算出した場合) 【事業全体】 B/C=2.1 【残事業】 B/C=2.1 B/C=3.6 B/C=3.7 (事業区間を中勢道路として算出した場合) 【事業全体】 B/C=2.6 【残事業】 B/C=10.6 B/C=3.0 B/C=14.2	継続
	国道23号 中勢道路	自 三重県鈴鹿市北玉垣町 至 三重県松阪市小津町	S59～H19年度事 業化(順次事業化) S61年度用地着手 S63年度工事着手	2,050 2,050	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 100% 事業進捗率 約94% (令和5年 3月末時点) 三重県鈴鹿市野町～三重県松坂市 小津町 L=31.0km 平成5年度～H27年度開通(2/4)	・令和5年度は以下内容を実施 【鈴鹿市北玉垣町～鈴鹿市野町】 ・調査推進: 水文調査、 調査設計(協議用資料作成等) ・工事推進: 玉垣地区ほか改良工 玉垣地区ほか舗装工 【津市大里窪田町】 交差点立体化工事着手 ・調査推進: 水文調査、 調査設計(協議用資料作成等) ・工事推進: 大里窪田地区改良工 鈴鹿市北玉垣町～鈴鹿市野町 L=2.8km(2/4) 令和5年度開通予定			継続